

右腕が伸びる

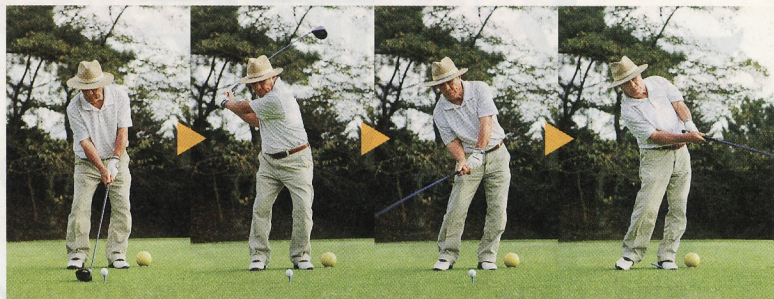
POINT
2

ボールを トゥ寄りに セットする



インパクトで右腕が伸びきった状態で打つれば、ボールに力が伝えられると考えた早川氏は、アドレスで手元を体に近づけ、ボールをトゥ寄りにセット。これで、インパクトで右腕を伸ばしやすくなったため、球がつかまり飛距離が伸びたという

低く打って転がして 200Y



POINT
1

左足1本で 回っています



スタンスを広くして、体重移動がスムーズにできないと、インパクトで右足に体重が残りミスが出やすい。スタンス幅を狭くすることで、1軸で振る意識を高めている

ラウンド前の練習法

使うのは4本だけ



「ドライバーは打っても意味ないよ。小さいクラブでゆっくりスイングを作らないと意味ないから。だからドライバーの練習なんてしたことない」と早川氏

SW → 50球

10~50ヤードを打ち分ける

PS → 20球

70~90ヤードを打ち分ける

8I → 20球

フルショットでスイングの調整

5UT → 10球

フックとスライスを打ち分ける

ボール位置で球筋を変える

低い球は右、高い球は左に置く



打ち方を変えるとミスしやすいので、ウェッジはボール位置を変えるだけで球の高低を打ち分ける。低い球は右足親指線上、高い球は左足親指線上に置く

力がなければ回転で飛ばせ
ドライバーは飛ばしたかったら肩幅よりスタンスを広げないことだよ。遠くみたいなのに、若さと力と柔軟性があれば、スタンスを広げて体重移動を使って飛ばせるかもしれないけど、僕は身長が160センチしかないし、81歳でパワーもない。そんな人間がスタンスを広げたら、右足に体重が残って明治の大砲になっちゃうよ。体も傷めちゃうしね。だから、スタンス幅を狭くして、1軸にして腰をクルッと回したほうが、体の回転スピードが上がってヘッドが走るんだ。エージシユートしたいけど、体力に自信がない人は、絶対スタンスは狭くしたほうが飛ぶから試してみてよ。